

根尾川で「過去の災害」から砂防事業の必要性を学びました ～「第3回山郷倶楽部（第9期）」の活動を実施～

平成24年10月24日（水）に第3回山郷倶楽部（第9期）の活動を実施しました。根尾谷（中地区）の横ずれ断層や地震断層観察館を見学することにより災害の恐ろしさを学び、敷原谷（しきはらだに）第1砂防堰堤・宇津志谷（うつしだに）第1砂防堰堤の施工現場の見学することにより砂防事業の必要性を学びました。また、小津白山（おづはくさん）神社において室町時代より伝わる貴重な能面を見学することにより、地域文化についても学びました。



＜根尾谷（中地区）横ずれ断層＞



＜地震断層観察館＞



＜敷原谷第1砂防堰堤＞



＜宇津志谷第1砂防堰堤＞



＜能面見学＞



＜閉校式＞

今回の活動をもちまして「山郷倶楽部（第9期）」の活動を終わりました。最後に事務所において閉校式を行い、参加者の皆様から「越美山系砂防事務所の仕事、砂防堰堤の役割を理解することができた」「防災に対する意識がより深まった」「若い人や子供達にも是非参加して貰いたいと思った。今後そういうことも考えて行って欲しい」「次回も是非参加したい」「他の人にも紹介したい」等のご意見・ご感想等を聞かせていただきました。参加者の皆様、お疲れさまでした。また、関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。